



兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS
No.29 2017.1

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

平成29年、新たな年を迎えました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

昨年は内外で頻発する自然災害や事件・事故、不透明な世界情勢など緊張感が高まる一年でした。一方、昨夏のリオ・オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍は、夢と目標を持つことの大切さを教えてく

夢叶う兵庫への道筋を示す

兵庫県議会議員 内藤 兵衛

れました。
兵庫県政においては、平成20年度から取り組んできた行革プランの最後の総点検作業が行われています。平成30年度の収支均衡を

目指して、これまで取り組んできたわけですが、その目標達成の見通しがつきつつあります。
西脇市・多可町においても人口は減っても活力を維持・向上させていく取り組みが求められています。豊かな自然を背景に先人が培ってきた伝統文化や産業を見つめ直し、未来への展望を示す時です。すでに播州織のブランド化など住民主体の活動が始まっていま

行革といえば、とかく「カット」や「削減」という後ろ向きのイメージが強くありますが、兵庫県の取り組みは、決してそうではありません。「選択と集中」はもちろん必要ですが、それだけで終わりでなく、行革の果

実（新たな財源）を活かして新たな行政課題に対応した施策を展開し、県民の福祉向上につなげていくというもので、これこそが行革の本筋であると思います。
こうした削るだけの改革ではなく、前向きな改革だったからこそ、県民、そして議会と目標を共有し、目標達成の最終段階にまで到達できたものと思っています。

地域創生元年の今、策定中の最終2力年行革プランは、ポスト行革へとスムーズにつながるため、新たな視点による施策を示すことが必要です。
西脇市・多可町においても人口は減っても活力を維持・向上させていく取り組みが求められています。豊かな自然を背景に先人が培ってきた伝統文化や産業を見つめ直し、未来への展望を示す時です。すでに播州織のブランド化など住民主体の活動が始まっていま

県・西脇・多可 とともに織りなす故郷の希望

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

内藤兵衛県議会議員には、国道427号西脇道路拡幅（下戸田）、県道黒田庄多井田線喜多バイパス整備（喜多）をはじめ、市内の歩道整備、加古川、杉原川の河川改修、さらには、郷瀬町急傾斜地崩壊対策、市内の有害鳥獣対策など、多くの事業において大変お世話になりました。本年は、市道市原羽安線（旧JR跡）もいよいよ工事に着手してまいります。この事業化にあたりまして多大なるお力添えをいただいております。深く感謝申し上げます。

さて、西脇市では、平成33年3月までに西脇市役所を下戸田カナート西脇跡地に移転します。この整備に合わせて

昨秋、西脇市と多可郡出身の県職員、OBで構成する「西脇市・多可郡の会」の第2回総会・懇親会を西脇市で開きました。会員の県職員に加え、片山市長、戸田町長をはじめとした市町職員が多数出席し、交流を深めました。県市町の枠を超えた

新年、明けましておめでとうござ

います。2017年・丁酉の年が、内藤後援会の皆さんにとっても、多可町にとっても良き年となることを願います。

昨年の出来事を振り返りますと、特出すべきは県と共催で開いた「敬老の日制50周年記念式典」です。

秋篠宮同妃両殿下にお出ましをいただき、厳粛かつ盛大に実施できたことは誠に光栄であり、多可町の歴史に永く残る出来事と思っています。

同時に行った世界で初めての「敬老文化のまち宣言」も、超高齢社会を前にし必要となる「敬老精神の醸成」・「高齢



「敬老文化のまち」発信

多可町長 戸田 善規



ネットワークが故郷の発展につながるものと期待しています。
今年も片山市長、戸田町長から新春メッセージをいただきました。地元選出の県議会議員として県と市町とのコーディネーター役を一層果たしていきます。

者の姿勢「世代間の相互尊重」を『敬老の日発祥のまち・多可町』だからこそ発信し、世論の喚起を促しました。

多可町では、高齢化と共に急激な少子化も進んでおり、年齢別人口比率の偏在を踏まえた子育て支援策と福祉施策の維持・充実が大きな課題です。

内藤県議会議員のお力添えを得ながら、多可町はこの難題に立ち向かってまいります。

結びにあたり、内藤県議のご健勝でのご活躍と、その支援の輪が更に強固なものとなることを心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



お力添えに感謝！さらなる連携で！

西脇市長 片山 象三

将来の高齢化社会に備えた公共交通ネットワークの拠点整備にも取り組んでまいります。また、地方創生の交付金を活用して、「西脇ファッション都市構想」を進めており、若者を西脇市に呼び込むとともに、播州織においては、最終製品化率の向上を目指しています。

そして今年は西脇市のシティプロモーション事業を始動させ、西脇市のブランド化にも積極的に取り組んでまいります。私も1期目最後の年となります。現在山積する課題解決に向け全力で取り組んでまいりますので、内藤県議会議員におかれましては、なお一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
新しい2017年が皆様にとって、さらなる飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます。

最終2カ年行革プランを審議

ポスト行革へ新たな施策展開要請

平成30年度を目標年次とする行財政構造改革(行革プラン)の最後の総点検にあたり、県議会では行財政構造改革調査特別委員会を設置し、集中審議を行っています。自民党県議団では、これに先立つ昨年度から検討委員会を設け、「財政状況」「組織・公営企業」「公社・外郭団体・公的施設」の3つのワーキングチームを置き、精力的に議論を重ねてきました。私も行革特別委員会の委員に参画するとともに、議員団の「財政状況」ワーキングチームリーダーとして、これまでの成果、課題の検証、ポスト行革をもとに政策提言に取り組んでいます。

県議会、市町、関係団体などのご意見を踏まえ、このほど最終2カ年行革プラン(第一次案)が取りまとめられました。これに先立ち、自民党県議団の意見をまとめ、プランへの反映を求めました。地域創生に欠かさない事業をビルドした上で、必要性のない事業をスクラップする基本姿勢を強く要請したところです。さらにポスト行革を見据えた新たな施策展開を強調し、平成30年度県政50周年の節目に「夢叶う兵庫」を県民がイメージできる、夢ある兵庫の船出を象徴する取り組みの検討を訴えました。

第一次案では我々の主張通り



行革特別委員会で意見表明

現行の構造改革は30年度で終了させるとともに31年度以降も不変の見直し(改革)に取り組むこと、そして地域創生を実現する新たな施策展開の検討が盛り込まれました。また、いよいよ平成29年度当初予算の編成作業が本格化いたします。11月には井戸知事に予算編成に対する申し入れを行い、県議団の総務部会長として関連項目の説明をいたしました。

29年度予算は最終2

カ年行革プランを踏まえたものになります。行革、予算審議をはじめ、新年度のスタートダッシュをめざし、議会活動に全力を尽くします。

西脇高校の生徒による播州織ファッションショーを見学しました



県政策を総合的に審査

今年度は総務常任委員会の委員長に選ばれました。同委員会は地域創生の推進、安全で安心な暮らし、持続可能な行財政基盤の確立、防災危機管理対策など、県政策全般を幅広く所管し、審査・調査を行っています。特に今年度は「多様な地域資源の効果的な活用による地域の元気づくり」を特定テーマ

西脇高校生と播織ブランド化で意見交換



地域創生の現場を訪ね意見を交わしています

に管内調査を実施しています。但馬、丹波、淡路、摂津、播磨の兵庫旧五国を巡り、地域創生の現場を訪ね意見を交わしています。持った地元の人々と意見を交わしました。私の地元においても西脇高校の生徒の皆さんから播州織の独自ブランドづくりの報告を受けました。西脇ファッション都市構想に「共感した」との同僚県議の声を聞き、誇らしさを感じました。これからも若者たちの活動を強力にサポートしていきます。

総務委員長に就任

兵庫五国で地域創生 現地調査

創生をめざす先進事例に直接ふれ、熱い思いを

安全安心な県土づくりへ

砂防ダム、社会基盤の整備着実に展開

県政の1丁目1番地といえるのが安全安心の確保です。地域創生の基盤とも言えます。厳しい財政状況にあっても防災対策や県民生活、交流人口の増に欠かせない道路事業など社会基盤整備を着実、計画的に進める必要があります。西脇市、多可町内においても砂防ダムの整備が各所で進められるとともに、加古川の河川改修、バイパス道路の整備が行われています。

工事が進む喜多バイパス



天船バイパスの改良工事



黒田庄町内の門神バイパス開通式に出席



平成28年度整備促進期成同盟会幹事会
加古川中流域整備促進等に係る期成同盟会総会に出席

土砂災害防止に効果を発揮する砂防ダムが各地で完成(写真:加美区・観音寺川)



加古川の河床掘削が進んでいます(写真:西脇市黒田庄町福地地区)

内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- ・昭和33年9月14日 多可郡中町(現多可町中区)生、58歳
- ・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校、私立天理高校卒業
- ・国立大阪大学法学部卒業

- ・昭和57年、総合商社(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- ・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- ・建設常任委員会委員長、現・総務常任委員会委員長
- ・自民党県議団政調会長、同副幹事長
- 家族:母、妻、一男 ○趣味:マラソン ○好きな言葉:一日生涯